

～ 夢を抱き、たくましく次の一步を踏み出す 15 歳の育成 ～ 幼小中一貫教育を推進！

未来へつながる通信 vol.176

発行：令和6年7月25日 袋井市教育委員会

幼児教育施設と小学校の連絡会を開催



【幼児教育施設の職員と学校職員が児童の活動の様子や指導について意見交換】



【幼児教育施設の職員による一年生の授業参観】

幼児教育と小学校教育が円滑な接続を目指して

幼児教育と小学校教育が円滑に接続し、体系的な教育が組織的に行われることは、子どもの発達や学びの連続性を保障するためにとっても重要です。市内の小学校では、「スタートカリキュラム」が実施されています。「スタートカリキュラム」とは、小学校へ入学した一年生が幼稚園・保育所・認定こども園などの幼児教育施設での遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくために考えられたカリキュラムで、一年生一人一人が、安心して学校生活のスタートが切れるよう、各学校で工夫した取組が行われています。

小学校での取組の状況や一年生の活動の様子を幼児教育施設の職員が参観し、その後、担任等の学校職員と情報交換を行う連絡会が6月までに各小学校で開催され、一年生の姿や指導の在り方について気付いたこと、スタートカリキュラムの効果・課題等について意見交換がなされました。幼児教育施設と小学校の連携や相互理解がさらに進み、それが実践に結び付き、児童の安心感や学びの連続性の向上につながります。このような連絡会は、各小学校で年に4回程度開催されています。

「未来へつながる通信」は、袋井市が進める「幼小中一貫教育」について、考え方や関連する取組の様子などを、お知らせするために発行しています。

袋井市教育委員会 教育企画課 未来の教育推進室 86-3221

